

緑化委員会広報

中高木220本せん定へ

毛虫対策で桜の一部を伐採

新年に入って初めての緑化委員会(21年度4回目)が1月31日に開催された。年度末までの作業予定などを議題に討議した後、新年会に切り替え懇談した。

委員会で林委員長が「委託業者の風雅苑が1月末から3月末まで例年通り中高木せん定を実施、毛虫が発生した桜の一部を伐採する」と報告した。委託業者による中高木せん定作業は1月25日から始まった。作業期間は3月31日まで

の予定で、中高木220本をせん定する。作業は団地内の周回道などと大松台小側、2号棟駐車場側緑地などの中高木のせん定と一部の木などを伐採する。

昨年、駐車場脇などに植えられた桜に大量の毛虫が集団発生し、駐車車両などに被害が出た。委託業者に依頼して樹木の緊急消毒を実施したが、今年は花付きが悪く、毛虫が発生しやす一部桜などを伐採することにした。



寅年にちなんで緑化委員の高村太木さんがデザインしたトラの作品です。

ひげの本1本1本に立体感が出て今にも羽子板から飛び出しそうな生き生きとしたトラのイラストです。

東側のナンキンハゼをせん定

2月定例作業 16本丸刈り

東側道路沿いのナンキンハゼのせん定を2月7日の定例作業日に実施した。作業は午前10時すぎから開始。高ばしごを使って一斉にナンキンハゼによじ登り、大きく伸びた枯れ枝を次々と伐採した。高木用はさみを操る緑化委員も植木

職人顔負けの技量を発揮、短時間でナンキンハゼを丸坊主に刈り上げた。ナンキンハゼは街路樹のハナミツキと並行して16本植えられている。環境に強い上に生育が早く、春になると坊主頭から青々とした新芽が一気に生育する。



定例作業報告

(09年12月~10年2月)
12月6日(日) 南側斜面



のユキヤナギの外側にシバザクラの苗木を植栽。子ども会がチウリップを植える管理事務所脇の花壇を整備。作業終了後、午後5時から忘年会。

12月13日(日) 理事会の年末大掃除。
12月27日(日) 年末恒例の住民有志による餅つき会。子どもたちも含め40人が参加。

防災訓練で炊き出し けんちん汁を調理

防災委員会は消防署と協力して実施している防災訓練の一環として、今年は災害時を想定した炊き出し訓練を初めて行った。

支援要請を受けた緑化委員会は2月7日の定例作業前に食材の仕込をした後、

料理長が大なべを使って70人分のけんちん汁を調理、参加者に振舞った。

防災訓練では地震体験車や自動体外式除細動器(AED)を使った救命方法などの講習を受けた。

住民と児童たちが昔遊びをしながら交流する「ふれあい交流会」が南鶴牧小と大松台小で相次いで開かれた。

南鶴牧小の会合には鶴牧、落合地区の中高年齢者ら30数人が招かれて参加。小学生と昔遊びで歓談

に分かれ、大人たちが遊びのルールを教えられながら約2時間、元気な児童たちと一緒に楽しんだ。

校長先生の説明による交流会の後、学校給食をこ馳走になった。献立はさばの塩焼き、けんちん汁、おしんこ、米飯の和定食。牛乳パックが付いて1食240円。

加、1、2年生の児童たちと交流した。緑化委員会からモラジオ体操作間らが参加した。

お手玉やおはじき、めんこ、けん玉、折り紙、こま回しなど各グループ

1月31日(日) 1月の定例作業は休止。緑化委員会全体会議を開催。終了後、新年会に切り替え懇談。

2月7日(日) 定例作業。ナンキンハゼのせん定と交差点脇の花壇整備。午後から防災訓練に参加。防災委員会の支援要請で非常災害に備えた炊き出しを実施。



水面を飛翔するカワセミ

一瞬の早業キャッチ

レンズを通して野鳥の生態を追い続けている山城詢さん（緑化委員）から苦労して撮影した野鳥や水鳥の貴重な写真の提供を受けた。

カワセミが小魚を捕らえる瞬間やカルガモとカイツブリの親子が寄り添って泳ぐほほえましいシーン、多摩に生息するキジの生態など珍しい小鳥たちの姿をキャッチしている。

撮影場所は主に多摩ニュータウンの多摩中央公園や豊ヶ丘南公園、多摩川、大栗川周辺などだが、夜明け前に山中湖畔や河口湖など富士山ろく方面にも出掛けて撮影した。

カワセミの撮影では早朝から豊ヶ丘南公園の水辺脇にカメラを据え、座り込んでままたま日近く張り込みを続けたという。苦勞の末、カワセミが一気に水中に飛び込み、小魚をゲットする一瞬を見事にとらえた（写真）。

恒例の年末餅つき会開催

子ども含め40人が参加

今年で11回目を迎えた恒例の年末餅つき会が昨年12月27日、管理組合集会所で開かれ、住民約40人が参加した。作業は前日の買い出しに続いて午前8時すぎから作業を開始し、30キロのもち米を約3時間かけてつき上げた。作業には多くの子どもたちも参加、今年初めて取り組んだ大福餅作りをした。のし餅作業を粉まみれになって手伝った。



編集後記

多摩地域の風景によく似合ったデザインが公募趣旨で、地元タウン紙でも紹介された。バスは多摩センター、唐木田などから1時間に3便運行され、ホームタウン鶴牧周辺も巡回コースに入っている。

多摩でうたごえ出前喫茶

なつかしの定番曲を合唱

新宿のうたごえ喫茶「ともしび」が京王プラザホテル多摩に出前喫茶にやってきた。緑化委員会のカラオケ好きの仲間たちが参加して、青春時代の思い出の歌を熱唱した。

京王プラザホテル多摩での企画は今回が初めてだが、「ともしび」は常時、出前喫茶を各地で開いているという。

（編集担当 富田）